

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成18年12月7日(2006.12.7)

【公表番号】特表2002-531090(P2002-531090A)

【公表日】平成14年9月24日(2002.9.24)

【出願番号】特願2000-585404(P2000-585404)

【国際特許分類】

C 12 N	15/09	(2006.01)
A 01 K	67/027	(2006.01)
A 61 K	31/713	(2006.01)
A 61 K	48/00	(2006.01)
A 61 P	19/00	(2006.01)
A 61 P	19/02	(2006.01)
C 07 K	14/47	(2006.01)
C 07 K	16/18	(2006.01)
C 07 K	19/00	(2006.01)
C 12 N	9/00	(2006.01)
C 12 P	21/02	(2006.01)
C 12 P	21/08	(2006.01)
C 12 Q	1/02	(2006.01)
C 12 Q	1/68	(2006.01)
G 01 N	33/53	(2006.01)
G 01 N	33/566	(2006.01)
C 12 N	5/10	(2006.01)

【F I】

C 12 N	15/00	Z N A A
A 01 K	67/027	
A 61 K	31/713	
A 61 K	48/00	
A 61 P	19/00	
A 61 P	19/02	
C 07 K	14/47	
C 07 K	16/18	
C 07 K	19/00	
C 12 N	9/00	
C 12 P	21/02	C
C 12 P	21/08	
C 12 Q	1/02	
C 12 Q	1/68	A
G 01 N	33/53	D
G 01 N	33/53	M
G 01 N	33/566	
C 12 N	15/00	F
C 12 N	5/00	B

【手続補正書】

【提出日】平成18年10月20日(2006.10.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 1 5 0

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【0 1 5 0】

(b . 抗体)

T G F - ファミリーメンバーへの T G F - 結合タンパク質の結合を阻害する抗体は、本明細書中に提供される開示を考慮して容易に調製され得る。本発明の状況内では、抗体は、モノクローナル抗体、ポリクローナル抗体、抗イディオタイプ抗体、抗体フラグメント（例えば、F a b 、および F (a b ')₂ 、 F v 可変領域、または相補決定領域）を含むことが理解される。上記で議論されるように、抗体は、 10^7 M⁻¹ 以上、好ましくは 10^8 M⁻¹ 以上、の K a にて結合し、そして他の T G F - 結合タンパク質に結合しないか、または 10^6 M⁻¹ 以下の K a にて結合する場合に、 T G F - 結合タンパク質に対して、または特定の T G F - ファミリメンバーに対して特異的であることが理解される。さらに、本発明の抗体は、 T G F - ファミリーメンバーへの T G F - 結合タンパク質の結合をブロックするか、または阻害する。